

令和5年度第2回 国土交通省大阪航空局 総合評価等に関する委員会
審議概要

開催日及び場所	令和5年9月11日(月) (大阪航空局 会議室B・C)
委員	委員長 古阪 秀三 (立命館大学客員教授) 委員 鎌田 敏郎 (大阪大学大学院工学研究科教授) 委員 倉本 宜史 (京都産業大学経済学部准教授)
内容	<p>審議事項</p> <p>1) 高知空港事務所新庁舎新築工事 (技術提案の個別評価項目及び評価結果の妥当性)</p> <p>2) 中部国際空港管制塔長周期地震動対策工事 (技術提案の個別評価項目及び評価結果の妥当性)</p> <p>その他</p> <p>3) 「大阪航空局工事調達における総合評価落札方式の実施方針」の改定について(案)_事前説明</p>
委員からの 意見・質問	意見・質問
	別紙【議事要旨】のとおり
委員会による具 申内容	1)、2) について審議内容を了承

【議事要旨】委員からの主な意見・質問

審議事項 1)：高知空港事務所新庁舎新築工事

(質問) 評価された点数の今後の役割、多寡についてはどのように扱われるのでしょうか。

(回答) 「コンクリート躯体の品質確保」というテーマは、鉄筋コンクリートの建築工事の場合に採用しておりますので、類似した提案は多くございます。従って、過去のもを参考にしながら採点をしております。

審議事項 2)：中部国際空港管制塔長周期地震動対策工事

(質問) 管制塔の中での作業に関する技術提案というのは、多くの提案を出せないテーマなのでしょうか、それとも、他空港の工事案件でもきちんと評価されるようなテーマとされているのでしょうか。

(回答) これまでに管制塔のような筒状の建築物の内部での作業は例が無く、中層階での補強、特にこういった長周期地震動への対応というものは今回が初です。

以 上